

1 つぎのお話を よんで もんだいに こたえましょう。

わたしたちがまい日つかっているえんぴつには、いくつかのひみつがあります。

えんぴつのまん中にはくろいしんが入っていて、このしんをかみの上にもじやえを書きます。

さわってみると、少しかたく、つるつるしていることもわかります。

えんぴつをつよくおすとこいせんがひけて、やさしく書くとうすいせんになります。

おなじえんぴつでも、書き方でせんのこさはかわり、れんしゅうするとじぶんのすきなこさで書けるようになります。

また、えんぴつはけざると、またつかえるようになります。さがとがると、こまかいところも書きやすくなり、字の形もきれいに書きやすくなります。つかいつづけると、だんだんみじかくなりますが、それでもさいごまでだいじにつかうことができます。

このように、えんぴつのつかい方をくふうすると、字やえをもっとじょうずに、気もちをこめて書くことができます。



(1) えんぴつのまん中に入っているものは何ですか。ただししいものを○でかこみましょう。

- ① 白いぼう
- ② くろいしん
- ③ まるいゴム

(2) つぎの文の①と②に当てはまる言葉を文の中から探し書きましょう。

「えんぴつをつよくおすと ① せんがひけて、やさしく書く」と ② せんになります。」

- ① ()
- ② ()

(3) えんぴつをけざると、どんないいことがあると書いてありますか。話の内容をもとにして書きましょう。

(4) つぎの文を、話のじゅんばんにならべましょう。

- ① えんぴつをけずる
- ② こまかいところもかけるようになる
- ③ さがとがってかきやすくなる

1 つぎの お話を よんで もんだいに こたえましょう。

わたしたちがまい日つかっているえんぴつには、いくつかのひみつがあります。

えんぴつのまん中にはくろいしんが入っていて、このしんをかみの上にもじやえを書きます。

さわってみると、少しかたく、つるつるしていることもわかります。

えんぴつをつよくおすとこいせんがひけて、やさしく書くとうすいせんになります。

おなじえんぴつでも、書き方でせんのこさはかわり、れんしゅうするとじぶんのすきなこさで書けるようになります。

また、えんぴつはけざると、またつかえるようになります。さがとがると、こまかいところも書きやすくなり、字の形もきれいに書きやすくなります。つかいつづけると、だんだんみじかくなりますが、それでもさいごまでだいじにつかうことができます。

このように、えんぴつのつかい方をくふうすると、字やえをもっとじょうずに、気もちをこめて書くことができます。



(1) えんぴつのまん中に入っているものは何ですか。ただししものを○でかこみましょう。

- ① 白いぼう
- ② くろいしん
- ③ まるいゴム

(2) つぎの文の①と②に当てはまる言葉を文の中から探し書きましょう。

「えんぴつをつよくおすと」①（せんがひけて、やさしく書く）②（せんになります。」

- ① (ー)
- ② (ー)

(3) えんぴつをけざると、どんないいことがあると書いてありますか。話の内容をもとにして書きましょう。

解答例 さがとがって、こまかいところもかきやすくなり、字の形もきれいかきやすくなる。

(4) つぎの文を、話のじゅんばんにならべましょう。

- ① えんぴつをけずる
- ② こまかいところもかけるようになる
- ③ さがとがってかきやすくなる

① ↓ ③ ↓ ②